

2015年2月5日

報道関係者各位

YRP ユビキタス・ネットワークング研究所

3次元地図とオープンデータを活用するアイデアソン・ハッカソンを 豊島区・横須賀市・東京大学で実施

ユビキタス・コンピューティングの基盤研究所である YRP ユビキタス・ネットワークング研究所*1（東京都品川区、所長:坂村健・東京大学教授）では、総務省委託事業「オープンデータによる G 空間地域プラットフォーム整備事業」の一環として、3次元地図や歩行空間ネットワークデータ、オープンデータを利用した、都市の PR 強化や来訪者への案内情報の充実等、都市の諸課題の解決に資する応用に関するアイデア検討（アイデアソン*2）と試作サービス構築（ハッカソン*3）の各イベントを、豊島区、横須賀市、および東京大学にて開催します。

豊島区池袋の地下街は複雑であり、また地下街を管理する施設ごとに設置している案内板の情報が統一されていないという課題を持っています。案内板の整備には限界があるため、スマートフォン等のソフトウェアによる課題の解決が期待されています。

横須賀市では、「集客推進アクションプラン」を掲げて、市内への集客に取り組んでいます。市内で開催されるイベントは、開催数・集客力とも他都市に比べて充実しており、イベントの魅力向上による集客拡大が期待される一方で、これらの観光資源の PR 強化が課題となっています。

今回のアイデアソン・ハッカソンでは、上記のような都市に関する課題を、3次元地図データ、歩行空間データ、およびオープンデータを利用して解決することを試みます。3次元地図は、FBX 形式のデータであり、スマートフォン用ゲームのデファクトプラットフォームである unity で利用可能です。今回は、池袋駅周辺、記念艦三笠、および横須賀中央駅付近の津波ハザードマップに関する 3次元地図(図 1)を整備しました。また、歩行空間ネットワークデータは、道路の段差・幅員・スロープ等のバリア情報を含んだ歩行経路の空間配置及び歩行経路の状況を表すデータであり、池袋駅周辺と横須賀中央駅から三笠公園付近をカバーしています。これらの 3次元地図データ、歩行空間データ、オープンデータを、YOKOSUKA Opendata および TOSHIMA Opendata の各カタログサイトにて管理・提供します。なお、3次元地図と歩行空間ネットワークデータは、株式会社パスコが作成しました。

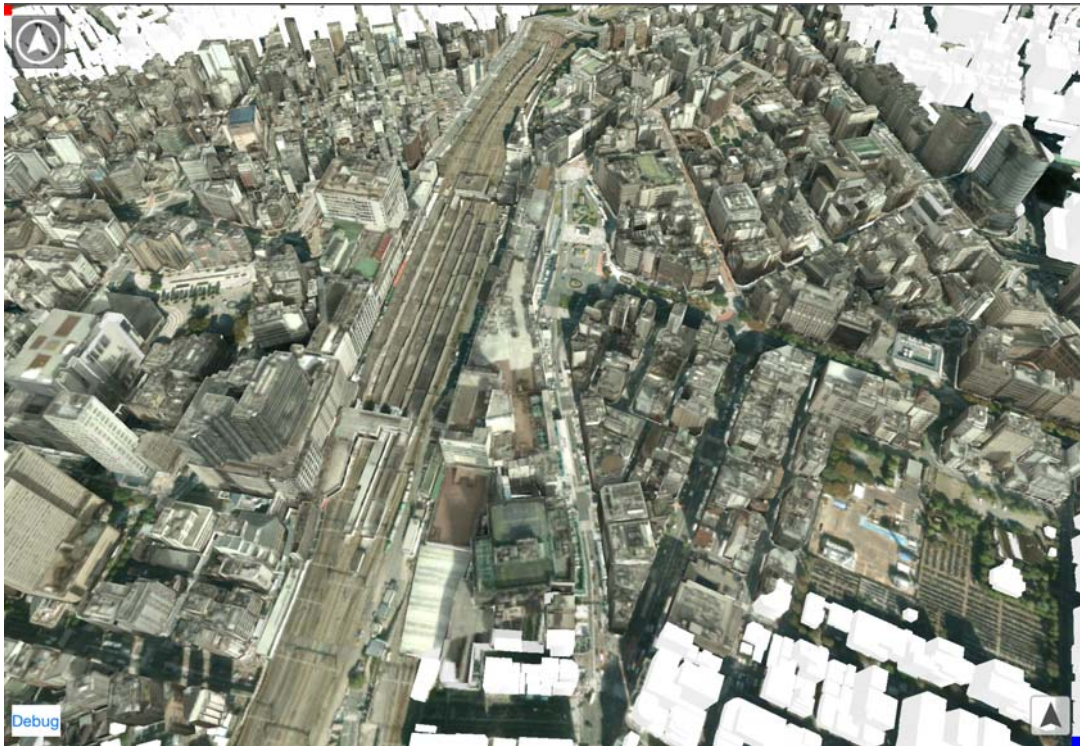


図 1: 池袋駅周辺の 3 次元地図の例

アイデアソンにおいて発表された優秀なアイデアや、ハッカソンにて発表された優秀なサービスを発表したグループについては、表彰いたします。その結果は、告知ページ (<http://lab.ubin.jp/opendata/2014/>) に掲載するとともに、プレスリリースや書籍等での紹介を予定しております。

アイデアソンの表彰として、ベストアイデア賞（ギフトカード 20,000 円相当）とグッドアイデア賞（ギフトカード 5,000 円相当）、ハッカソンの表彰として、グランプリ（ギフトカード 30,000 円相当）、豊島区賞・横須賀市賞・三笠賞・東京大学賞（それぞれにちなんだ逸品）を予定しております。

イベントの概要は以下の通りです。詳細は、告知ページ (<http://lab.ubin.jp/opendata/2014/>) をご覧ください。参加を希望される方は、実施要領のページから申し込みいただくか、gcity-opendata@ubin.jp 宛てにお名前・ご所属・参加されるイベント名を記載した電子メールをお送りください。

記

- 横須賀アイデアソン
 - 開催日時: 2015年2月21日(土) 13:00~16:00
 - 開催場所: 記念艦三笠
- 池袋アイデアソン
 - 開催日時: 2015年3月5日(木) 18:30~20:00
 - 開催場所: 豊島区民センター 第2会議室
- ハッカソン
 - 開催日時: 2015年3月14日(土) 13:00~16:00
 - 開催場所: 東京大学ダイワユビキタス学術研究館

以上

【補足資料】

*1: YRP ユビキタス・ネットワーキング研究所について

YRP ユビキタス・ネットワーキング研究所は、身の回りのあらゆるモノに、通信能力を有するマイクロコンピュータやセンサ、アクチュエータ等が埋め込まれ、それらが相互に情報交換を行いながら協調動作し、人間生活をより高度にサポートする、ユビキタス・コンピューティング、ならびにモノのインターネットと称される Internet of Things の技術に関する研究開発を推進しています。

*2: アイデアソンについて

アイデアソンとは、特定のテーマについてグループ単位でアイデアを出し合い、それをまとめていく、参加型のイベントです。一般に、アイデアソンは、ハッカソンの実施に先立ち、ハッカソンで開発するアプリケーションやサービスの方向性を定める目的で開催されます。

*3: ハッカソンについて

ハッカソンとは、アプリケーション開発者やデザイナーなどが集まり、短期集中的にアプリケーションやサービスを構築するイベントです。ハッカソンには、集まったメンバが1日~数日間集中してその場でアプリケーションの開発を行う形式と、事前に開発したアプリケーションを発表し合う形式の2種類があります。今回のハッカソンは、後者の形式で実施します。

【報道関係の方からのお問い合わせ先】

YRP ユビキタス・ネットワーキング研究所(担当:新堂・柏)

TEL:03-5437-2270(代表) Email: press@ubin.jp